ハット

ヒヤリハットとは…重大な災害や事故に直結する一歩手前の出来事のこと 思いがけない出来事に「ヒヤリ」としたり、自己寸前のミスに「ハッ」としたりすること が、名前の由来と言われています。事故や災害に繋がる要因を特定し、対策する貴重な機 械であり、リスクマネジメントの観点から多くの職業・企業でも重要視されています。 なぜ、ヒヤリハットがリスクマネジメントに繋がるのか、その重要性は、「ハインリッヒ の法則」を知ることで、理解を深めることが出来ます。

ハインリッヒの法則とは、アメリカの損害保険会社に勤めていたハインリッヒが、5000 件以上の事故の調査を経て、提唱した労働災害における経験則で、「1:29:300の法則」 とも呼ばれます。現在、「事故・災害防止のためのバイブル」として、世界に広まってい ます。"1 件の重大事故の背後には 29 件軽微な事故があり、さらにその背後には 300 件の 異常が存在する"というもので、300件の異常こそが「ヒヤリハット」です。

「事故にならなくて一安心」で終わらせず、その経験を活かしてヒヤリハットの再発防止 に努めることが、軽微な事故、ひいては重大事故を未然に防ぐために重要です。

告が足膏しない選

- ●当事者が「報告するまでもない」と自分 勝手に判断してしまうケース
- ●報告することで、叱られるのではないか と不安を抱いてるケース

解決策

ヒヤリハット報告をすることで、重大事故 を防げれるんだという気持ちの統一を図る こと。上司が率先して報告すること。

☆危険だと思ったら1度手を止める (担当に報告し、判断してもらう) ☆現場状況を把握し、適材適所の人員を配 置させる(新人と高齢者の配置を考える) ☆道具の管理をしっかり行う

(月1故障・破損・メンテナンスの実施) ☆救急箱の所持(各班に1つ用意する) ☆AED の確認(使い方や、置き場所確認) ☆緊急連絡の徹底(緊急カードの作製)



直ぐに掛けれる体制 を取るために作成





発行所

(有)依田林業 塩山事務所

他 人からどう思われるかに一喜一憂せず 自分らしく生きることが大切だ 肌向きになれる

2

09年に政策とし

・林業再生プラン」

が





FORESTJOURNA 参考



終形が完成した。 いを追求し1

「ホークアイ」 鷹の目を 日本の

げられました。 義治さん。 を開発する八戸森林組合の工 参考に日本林業を成長産業に てしまうとの現場の声 いけるように学び、 きやすさと通気性、 防護服パ ていて脱水症状に ドイツの林業を 尚且